

5月 8日(水) 朝礼のお話

「キャッチボール」と言う言葉について

今日はキャッチボールについてのお話です。皆さんはキャッチボールという言葉を知ることがありますね。野球をやっている人にとっては、キャッチボールは練習の基本の基本。どんな練習をする時でも最初はキャッチボールから始まりますね。

このキャッチボールという言葉、考えてみるとちょっと不思議な言葉です。「キャッチボールをする」と言ったら、皆さんはどんな姿を思い浮かべますか？多分、多くの人が「ボールを投げ合うこと」だと答えると思います。ボールを投げることは英語で「スロー」と言います。ならば、このボールを投げ合うことを「スローボール」と呼ぶ方が自然なような気がしませんか？でもほとんどの人はボールを投げ合う練習のことをキャッチボールと呼びます。そして、英語でも Playing Catch というそうです。どうしてでしょう？

校長先生、こう思います。「ボールを投げ合うことで実は一番大切なのはボールを投げるのではなく、相手のボールをちゃんとキャッチすることなんだ。」野球をやっている人ならばよくわかると思いますが、ピッチャーがバッターにボールを投げる時には「打たれないような球を投げる」わけですが、それ以外のほとんどの場面では、ボールを投げる時に相手がとりやすいように投げるのが基本です。でも場面によってはそうそういつでも捕りやすい球が投げられるわけではありません。でも、そんな場合でも大事なのは、チームの仲間に、「どんな球でも捕るから安心して投げて良いよ！」という気持ちを伝えることではないかと思います。だからボールを投げ合う時でも「キャッチ」がまず大事なことになるんですね。ボールを投げ合う練習を「キャッチボール」と呼ぶのもこんな理由があるのかもしれないと校長先生、考えました。

このお話は野球以外の場面でも同じように考えることができるのではないかと思います。例えば、お友達と話をする時です。そういう時は自分がしゃべる言葉が投げるボールになりますね。誰かと話をする時にはどうしても自分が何をしゃべろうか、何を話そうかとまず考えてしまいがちです。でもキャッチボールと同じように考えれば、本当に大事なことは自分が何を話すのかではなく、まず第一に「目の前にいる人は何を話したいと思っているのかな？何を伝えてくれようとしているのかな？」と考える、つまり相手の言葉や思いをキャッチすることが大事なのではないのでしょうか？人間はどうしても自分の言いたいばかりのことを早口で言ってしまいがちです。そして、上手にしゃべれる人が褒められたりしがちです。でも、本当に素敵な人は相手がどんな話をしても上手に気持ちよく聴いてくれる人なんだと思います。あなたはお友達と話すときに、上手なキャッチャーになっていますか？

今日はキャッチボールについてのお話をしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。今日のお話はこれで終わりです。